



青少年のための科学の祭典（姫路会場）に出展しました

日時 平成 27 年 8 月 29日 (土) ・ 30日 (日)
参加者 サイエンス・サーベイ・コース(SSC) 2年生 課題研究班
内容

SSC 2年生の課題研究班および有志が、兵庫県立大学姫路工学キャンパスで行われた「青少年のための科学の祭典」に出展しました。普段の課題研究とは異なり、小学生が楽しみながら科学のしくみを学ぶ体験を、指導者として楽しみました。



開会式
 いろいろな分野・学校の人たちが参加しています。他校の出展を見ることも楽しみにしています。



準備時間
 準備時間には、配置の調節とリハーサルをしたり、準備物の確認と用意をします。



わりばしでマジックハンドを作ろう
 わりばしとカラフルな輪ゴムを使って製作します。すぐに小さい子どもたちでいっぱいです。



楽しい科学工作
 子どもたちに、分かりやすく説明し、補助します。



大きなシャボン玉に入ってみよう
 大きなシャボン膜にびっくり・笑顔。



姫路 科学の不思議を体験 子ども向けにイベント
 科学の魅力をより多くの人に伝えるイベント「青少年のための科学の祭典」が、姫路市立大学の県立姫路工学キャンパスで始まりました。高校や大学、産学連携の大会で、実験や工作を通じて不思議な科学の世界に近づいた。理数系の大会で、



子どもたちの楽しそうな顔がご褒美
 たくさんの子どもたちが楽しみました。一生懸命つくっている姿に、こっちも楽しくなります。



白衣は、シャボン液飛沫ガード
 割れにくいシャボン膜は、数種類の成分の配合に秘密あり。しかし、飛沫で白衣はバリバリです。

2015.8.30(日) 神戸新聞の地方版に掲載されました。

姫路 科学の不思議を体験 子ども向けにイベント

科学の魅力をより多くの人に伝えるイベント「青少年のための科学の祭典」が、姫路市立大学の県立姫路工学キャンパスで始まりました。高校や大学、産学連携の大会で、実験や工作を通じて不思議な科学の世界に近づいた。理数系の大会で、

「シャボン玉」は、水と洗剤の混合物でできています。水分子の「親水性」と洗剤分子の「疎水性」が、水分子を包み込んで「ミセル」という小さな球状の構造を作ります。このミセルが、水と洗剤を混ぜると、泡（シャボン）が作られるのです。

泡は、水分子と洗剤分子の両方によって構成されています。水分子の「親水性」が、泡の表面を形成し、洗剤分子の「疎水性」が、泡の内部を形成します。この結果、泡は非常に安定な構造を持つことができます。

泡の安定性は、洗剤の種類や濃度、水の温度などに依存します。洗剤の種類によって、泡の安定性は大きく異なります。また、水の温度が高くなると、泡の安定性は低下します。

泡の安定性を高めるためには、洗剤の種類や濃度を調整する必要があります。また、水の温度を低く保つことも、泡の安定性を高める効果があります。

泡の安定性を高めるためには、洗剤の種類や濃度を調整する必要があります。また、水の温度を低く保つことも、泡の安定性を高める効果があります。

泡の安定性を高めるためには、洗剤の種類や濃度を調整する必要があります。また、水の温度を低く保つことも、泡の安定性を高める効果があります。